【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和7年3月6日(2025.3.6)

【国際公開番号】WO2024/203553
【出願番号】特願2024-543896(P2024-543896)
【国際特許分類】
C08L 23/26(2025.01)
C08F 8/46(2006.01)
C09D 5/00(2006.01)
C09D123/26(2006.01)
C09D 7/65(2018.01)
C09J123/26(2006.01)
C09D 11/10(2014.01)
C09J 11/08(2006.01)
【ＦＩ】
C08L 23/26
C08F 8/46
C09D 5/00 D
C09D123/26
C09D 7/65
C09J123/26
C09D 11/10
C09J 11/08

【手続補正書】
【提出日】令和6年7月24日(2024.7.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ＪＩＳ Ｋ７１２１－１９８７に準拠して、示差走査型熱量計により、１０℃／分の昇温速度で測定された融点が１００℃以下のポリオレフィン樹脂（Ａ）がα，β－不飽和カルボン酸及びその誘導体からなる群より選択される一種以上の化合物により変性されてなる変性物、及び
ＪＩＳ Ｋ７１２１－１９８７に準拠して、示差走査型熱量計により、１０℃／分の昇温速度で測定された補外融解開始温度（Ｔｉｍ）が１２０℃以上、かつＪＩＳ Ｋ７１２１－１９８７に準拠して、示差走査型熱量計により、１０℃／分の昇温速度で測定された補外融解終了温度（Ｔｅｍ）と前記補外融解開始温度（Ｔｉｍ）との差（Ｔｅｍ－Ｔｉｍ）が、５～２０℃であるポリオレフィン樹脂（Ｂ）がα，β－不飽和カルボン酸及びその誘導体からなる群より選択される一種以上の化合物により変性されてなる変性物
を含む樹脂組成物であって、
樹脂（Ｂ）の変性物が、樹脂（Ａ）の変性物の中に分散しており、
樹脂（Ｂ）の変性物の平均粒子径が、０．１～１００μｍである、樹脂組成物。
【請求項２】
α，β－不飽和カルボン酸及びその誘導体からなる群より選択される一種以上の化合物が、マレイン酸無水物を含む、請求項１に記載の樹脂組成物。

【請求項３】
α，β－不飽和カルボン酸及びその誘導体からなる群より選択される一種以上の化合物が、（メタ）アクリル酸エステルを含む、請求項１に記載の樹脂組成物。
【請求項４】
ＪＩＳ　Ｋ７１２１－１９８７に準拠して、示差走査型熱量計により、１０℃／分の昇温速度で測定された樹脂（Ｂ）の融点が、１４０～２００℃である、請求項１に記載の樹脂組成物。
【請求項５】
樹脂（Ａ）の変性物及び樹脂（Ｂ）の変性物の質量比が、樹脂（Ａ）の変性物：樹脂（Ｂ）の変性物＝５０：５０～９５：５である、請求項１に記載の樹脂組成物。
【請求項６】
疎水性溶剤をさらに含む、請求項１に記載の樹脂組成物。
【請求項７】
請求項１～６の何れか１項に記載の樹脂組成物を含むプライマー。
【請求項８】
請求項１～６の何れか１項に記載の樹脂組成物を含む接着剤。
【請求項９】
請求項１～６の何れか１項に記載の樹脂組成物を含む塗料。
【請求項１０】
請求項１～６の何れか１項に記載の樹脂組成物を含むインキ。
【請求項１１】
請求項１～６の何れか１項に記載の樹脂組成物の製造方法であって、
（１）樹脂（Ａ）及び樹脂（Ｂ）を混合物として同時にα，β－不飽和カルボン酸及びその誘導体からなる群より選択される一種以上の化合物で変性して前記樹脂組成物を得る工程を含むか、或いは
（２）樹脂（Ａ）をα，β－不飽和カルボン酸及びその誘導体からなる群より選択される一種以上の化合物で変性して樹脂（Ａ）の変性物を得る工程、樹脂（Ｂ）をα，β－不飽和カルボン酸及びその誘導体からなる群より選択される一種以上の化合物で変性して樹脂（Ｂ）の変性物を得る工程、及び得られた樹脂（Ａ）の変性物と得られた樹脂（Ｂ）の変性物とを混合して前記樹脂組成物を得る工程を含む、樹脂組成物の製造方法。